

第34回全九州高等学校選抜ヨット選手権大会

共同主催：九州ヨット協会、九州高等学校体育連盟、熊本県セーリング連盟

期 日：2024年3月20日（水）～3月24日（日）

場 所：熊本県宇土マリーナ（熊本県宇土市下網田町3084-1）

ク ラ ス：420級、シングルハンダー級、FJ級

帆走指示書（SI）

[NP]：艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは、規則 60.1（a）を変更している。

[SP]：レース委員会、またはテクニカル委員会が審問なしに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。これは規則 63.1 及び A5 を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合には審問を経てプロテスト委員会の裁量ペナルティが決定される。

1 規則

- 1.1 本大会には『セーリング競技規則 2021-2024』（以下「RRS」という）に定義された規則が適用される。
- 1.2 RRS 付則Tが適用される。
- 1.3 [NP] [DP] RRS 40.2 を用いず、RRS40.1 を次のとおり変更し適用する。
「各競技者は、水上にいる間は、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、常時、個人用浮揚用具を着用していなければならない。ウェット・スーツやドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。」

2 帆走指示書の変更

- 2.1 帆走指示書（以下、SI という）の変更は、それが発効する当日の09:00 までに[大会公式掲示板（オンライン）](#)に掲示される。ただし、レース日程の変更は、発行する前日の19:00 までに[大会公式掲示板（オンライン）](#)に掲示される。

3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 選手への通告は、[大会公式掲示板（オンライン）](#)に掲示される。選手への通告はEメールで該当する艇のヘルムスマンに自動配信される。
- 3.2 抗議、救済要求、得点照会、レースオフィシャルズへの質問などの手続きを行うフォームは、[大会公式掲示板（オンライン）](#)の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。
- 3.3 大会 LINEオープンチャットにも情報を展開する。ただしこの展開は参考情報であり、正式な情報は公式掲示板を確認すること。大会LINEオープンチャットへの未掲載を含む、大会公式掲示板との差異については救済要求の根拠とはならない。これはRRS62.1（a）を変更している。
- 3.4 [DP] レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。この制限はモバイル・フォンにも適用される。
- 3.5 大会公式掲示板のURLとオープンチャットの情報は以下のとおりである。
（青字の部分をクリックすると、サイトにアクセスできます。）
大会公式掲示板（オンライン）
[RRS.org](https://www.rrs.org)

大会LINE オープンチャット

オープンチャット「[第34回九州高校選抜大会](#)」

※参加コードは別途関係者にのみ通達する。



4 [DP] 行動規範

- 4.1 競技者および支援者は、主催団体やレース委員会、テクニカル委員会、プロテスト委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、レースオフィス前のポールに掲揚される。
- 5.2 [DP] [NP] 音響信号 1 声とともに掲揚されるD 旗は、「艇は、この信号が発せられるまでハーバーから離れてはならない。」ことを意味する。また、予告信号は、D 旗掲揚後30 分より前には発せられない。
- 5.3 予告信号予定時刻の 30 分前までにD 旗が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間に定めなく延期されている。

6 レース日程

6.1 レース日程

日付	レース数	スタート予告信号予定時刻
3月21日（木）	プラクティスレース	13:00
3月22日（金）	3レース	10:25
3月23日（土）	3レース	09:55
3月24日（日）	1レース	09:55

- 6.2 レース数は、各クラス 7 レースが予定されている。
- 6.3 天候及びレースの進行状況次第では、3月22・23日に最大4レース実施する場合がある。
- 6.4 天候その他レース日程等の理由により、次の日のレースを前倒して行う場合がある。
- 6.5 RRS レース信号「オレンジ旗」に以下を追加する。
1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する 5 分前までにレース委員会信号艇(以下「シグナルボート」という)に音響 1 声と共にオレンジ旗を掲揚する。
- 6.6 2024 年3月24日（日）は、12:00 より後に予告信号を発しない。

7 ブリーフィング

- 7.1 レースオフィス前にてレース委員会、プロテスト委員会、テクニカル委員会よりアナウンスを行う。3月22日（金）は開会式に引き続き、3月23日（土）以降は09:00から実施する。

8 クラス旗

- 8.1 クラス旗は、以下のとおりとする。

クラス	旗
男子420級	420級旗（白色地に青記章）
女子420級	420級旗（黄緑色地に青記章）
男子シングルハンダー級	ILCA旗（白色地に赤記章）
女子シングルハンダー級	ILCA旗（黄緑色地に赤記章）
男子FJ級	FJ級旗（白色地に青記章）
女子FJ級	FJ級旗（青色地に青記章）

9 レース・エリア

- 9.1 【添付図A】にレース・エリアの位置を示す。

10 コース

- 10.1 【添付図B】は各コース「コース・コード（O2、I2、LR）」のコース見取り図を示す。
各レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2 予告信号以前に、シグナルポートに帆走すべき「コース・コード」と最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

11 マーク

- 11.1 (コースO2またはコースI2の場合)
マーク1、マーク4Sおよび4Pは黄色円錐形ブイとする。
マーク2、3Sおよび3Pはオレンジ色カバー付き台形マークポットドローンブイとする。
(コースLRの場合)
マーク1、マーク4Sおよび4Pはオレンジ色カバー付き台形マークポットドローンブイとする。
- 11.2 SI 13 (a) に規定される新しいマークは、ピンク色円錐形ブイである。
- 11.3 スタート・マークはスターボードの端にあるシグナルポートと、ポートの端のレース委員会艇とする。
- 11.4 フィニッシュ・マークは、ポートの端にあるレース委員会艇と、スターボードの端にあるオレンジ色円筒形ブイとする。

12 スタート

- 12.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上で「オレンジ旗」を掲揚しているポールの間とする。
- 12.2 [DP] [NP] 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。【添付図C】にスタート・エリアを示す。
- 12.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった (DNS) 』と記録される。これはRRS A5.1とA5.2を変更している。
- 12.4 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示されるRRS30.4に抵触した艇の識別番号は、次のレースの予告信号前にシグナルポートのスターン掲示板に掲示される。
- 12.5 [NP] SI12.3以外でスタート時にOCS、UFD及びBFDと記録された艇の識別番号を一連のスタート完了後、シグナルポートのスターン掲示板に掲示する。この掲示の失敗またはリストの不十分及び誤りは救済の要求の根拠にならない。これは62.1(a)を変更している。

13 コースの次のレグの変更

- 13.1 RRS 33に基づきコースの次のレグを変更する場合、レース委員会は次の対応を行う。
- (a) SI 11.2に規定する新しいマークを設置する。
 - (b) フィニッシュ・ラインを動かす。
 - (c) 風下ゲートを動かす。
- 13.2 また、新しいマークを設置した場合、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14 フィニッシュ

- 14.1 フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

15 ペナルティ方式

- 15.1 RRS 付則Pが適用される。
- 15.2 RRS P1文中の『セール番号』は『セール番号または識別番号』と置き換える。これはRRS P1を変更している。
- 15.3 [NP] [SP] SI 19 のチェックアウト及びチェックイン違反艇は、レース委員会により標準ペナルティが課せられる。ペナルティについては、チェックアウトは直後に行われたレース、チェックインは直前に行われたレースに対し課せられる。但し DNF より悪い得点が与えられることはない。
- 15.4 [SP] の記された規則に対する標準ペナルティのリストは、大会 1 日目の9:00 までに掲示される。標準ペナルティを課された艇は、得点略語STP を用いて記録される。これは、RRS A10 を変更している。
- 15.5 RRS T1 に基づく「レース後のペナルティ」を履行した艇は、得点略語PRP を用いて記録される。これはRRS A10 を変更している。
- 15.6 プロテスト委員会は、裁量ペナルティ[DP]の目安（ガイドライン）を、大会 1 日目の09:00 までに掲示する。

16 タイム・リミットとターゲット・タイム

- 16.1 マーク1のタイム・リミット、レース・タイム・リミット、フィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムを下表に示す。

マーク1のタイム・リミット	レース・タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
20分	70分	15分	40-50分

- 16.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レースは中止される。
- 16.3 フィニッシュ・ウィンドウは、RRS30.3 または30.4 に抵触しない最初の艇がスタートし、コースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった（DNF）』と記録される。これはRRS 35、A5.1、A5.2を変更している。
- 16.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1 (a) を変更している。

17 審問要求

- 17.1 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会公式掲示板（オンライン）の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。[抗議書（審問リクエスト）フォーム](#)に記入のうえ、締切時間内にオンラインで提出しなければならない。
- 17.2 抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、[審問の予定](#)を知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告を大会公式掲示板（オンライン）に掲示され、その艇へのヘルムスマンにEメールで連絡される。審問は掲示された時刻にプロテストルーム（マリーナ西側）にて開催される。当事者は、プロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。
- 17.4 レース委員会及びテクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1 (b) に基づき艇に伝えるために大会公式掲示板（オンライン）に掲示され、その艇のヘルムスマンにEメールで連絡される。
- 17.5 RRS 付則Pに基づきRRS42 違反に対するペナルティを課された艇のリストは大会公式掲示板（[オンライン: 海上ペナルティ](#)）に掲示される。
- 17.6 SI 及びレース公示（NoR）の規則で[SP]または[DP]の記された規則、クラス規則、RRS 付則Gの規則およびRRS 77の違反に対するペナルティは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。
- 17.7 大会計測規定、クラスルールまたは[SP]および[DP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティは、プロテスト委員会の裁量でペナルティが決定する。艇は、これらの違反に関する審問より前に、大会公式掲示板（オンライン）の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。[ペナルティ報告フォーム](#)に自ら違反したことを記入して提出することで、「スポーツマンシップと規則」に定められたスポーツマンシップの基本原則に従うことができる。

- 17.8 レースを行う最終日では、[審問の再開の要求](#)は、次の時間内に提出されなければならない。
- (a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。
 - (b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された後 20 分以内。これはRRS66 を変更している。
- 17.9 レースが予定される最終日においては、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 20 分以内には提出されなければならない。これは、RRS 62.2 (a) を変更している。

18 得点

- 18.1 大会の成立には、各クラス1レースを完了することが必要である。
- 18.2
- (a) 完了したレースが5レース未満だった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
 - (b) 完了したレースが5レース以上だった場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.3 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、手続きを行う[成績照会フォーム](#)は、大会公式掲示板（オンライン）の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。

19 安全規定

- 19.1 [NP] [SP] 出艇申告・帰着申告（チェックアウト・チェックイン）は、署名方式で行う。署名用紙は大会受付に用意される。
- 19.2 [NP] [SP] 出艇しようとする艇は、その日の予告信号予定時刻の30分前までに署名用紙に署名をしなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇は、その日の予告信号予定時刻の30分前までに大会本部に準備している「リタイア報告書」を入手し、レース委員会に提出しなければならない。
- 19.3 [NP] [SP] 帰着した艇は、帰着後速やか（できるだけ早い機会）に、また、その日の当該種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に署名用紙に署名をしなければならない。
- 19.4 [NP] [SP] レースの中止または延期により帰着した場合も、帰着申告を行わなければならない。中止または延期されたレースが再開される場合は、再度出艇申告を行わなければならない。
- 19.5 [NP] [SP] レースからリタイアする艇は、可能であれば、出来るだけ早くシグナルポート又は運営船に伝え、帰着後は速やかに帰着申告を行ったうえ、大会本部に準備している「リタイア報告書」を入手し、レース委員会に提出しなければならない。
- 19.6 レース委員会又はプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合は、リタイアを勧告することができる。また、艇が緊急救助を必要とするような危険な状態だと判断した場合は、強制的に救助活動を行うことがある。これは救済要求の根拠にはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。
- 19.7 [NP] [SP] 艇は割当てられた識別番号シールをセールに貼付しなければならない。シールは、受付時に配布する。貼付箇所は「添付図D」に示す。
- 19.8 曳航ロープについて
- (a) 420級については、420 クラス規則のとおりとする。
 - (b) シングルハンダークラスについては、直径6mm 以上、長さ 8m 以上の曳航ロープをバウアイにつけておかなければならない。

20 [NP] [DP] 乗員の交代と装備の交換

- 20.1 [SP] 男女 420 級及び男女 FJ 級においては、下記日程の第1レースの乗員表を、次の時間内に大会受付に提出しなければならない。
- (a) 3/21 (プラクティスレースの日) の 12:00~12:30
 - (b) 3/22 (最初のレースの日) の 8:55~9:25
- 20.2 乗員の交代を要求する場合は、大会公式掲示板 (オンライン) の上部にある青色の + ボタンを押す事でアクセスできる乗員の交代申請フォームに記入のうえ、送信する事でレース委員会に提出し、許可を得なければならない。海上で交代した場合は、シグナルポートに伝えた後、乗員の交代申請フォームに記入のうえ、抗議締切時刻までに送信しなければならない。
- 20.3 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会またはレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、大会公式掲示板 (オンライン) の上部にある青色の + ボタンを押す事でアクセスできる装備の交換申請フォームに記入のうえ、送信する事でテクニカル委員会またはレース委員会に提出し、許可を得なければならない。海上での交換要請は、最初の妥当な機会に、シグナルポートに報告し、抗議締切時刻までに装備の交換申請フォームを送信しなければならない。

21 装備と計測のチェック

- 21.1 艇または装備は、クラス規則、NoR および SI に適合しているか、いつでも検査されることがある。水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。
- 21.2 [NP] [DP] 海上でテクニカル委員会またはレース委員会に指示された場合、艇は検査のために指定されたエリアに向かわなければならない。

22 運営船

- 22.1 運営船は、以下のように識別される。
- ・レース委員会艇……白色旗
 - ・プロテスト委員会艇……緑色旗
 - ・テクニカル委員会艇……白色旗
 - ・救助艇……黄色旗

23 [NP] [DP] 支援チーム

- 23.1 支援者は、準備信号の時刻から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、【添付図E】に定める「艇がレースをしているエリア」の外側にいなければならない。
- 23.2 支援艇の出艇および帰着申告は署名方式で行う。支援艇の出艇申告は、その日の予告信号予定時刻前までに署名用紙に署名をしなければならない。なお、SI5 に規定する「D旗」が掲揚されていない場合、支援艇もこれに従うものとする。支援艇の帰着申告は、その日の最終レースのレース終了後、またはレース委員会が、「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分までとする。
- 23.3 支援者艇は、桃色旗の標識を付けなければならない。
- 23.4 シグナルポートに音響信号 1 声とともに「V旗」が掲揚された場合、全ての支援艇は救助活動に従事しなければならない。この旗は、レース中であっても掲揚されることがある。この場合、SI23.1は適用されない。これは RRSレース信号 V 旗及び RRS37を変更している。
- 23.5 支援艇は、前項の場合を除き、レース委員会艇の無線通話を傍受してはならない。
- 23.6 支援艇(船外機艇)は海上にいる間、常にキル・コード(安全装置)を装着してなければならない。

24 ごみの処分

- 24.1 ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

25 リスク・ステートメント

- 25.1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 25.2 この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する（RRS 3『レースをすることの決定』参照）。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

26 肖像権

- 26.1 競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または装備に関する動画、スチール写真及び撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

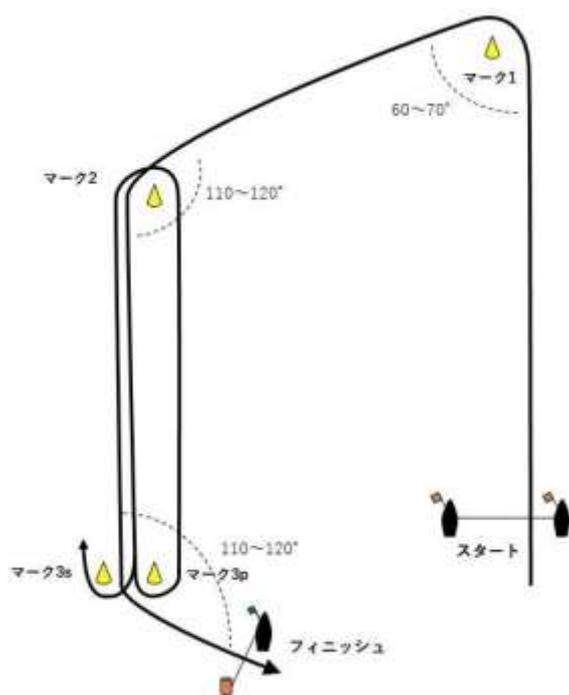
【添付図A】 レース・エリア



【添付図B】 コース図

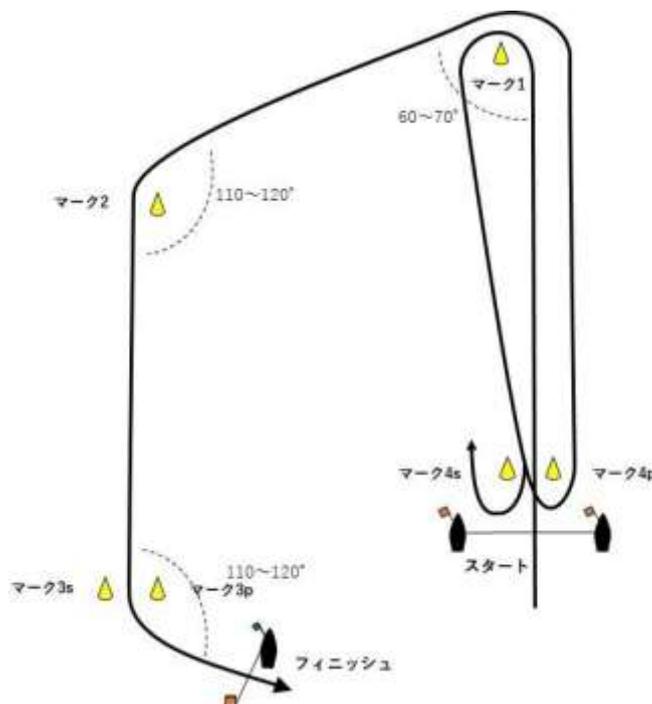
コース・コード『 O2 』

S-1-2-3s/3p-2-3p-F



コース・コード『 I2 』

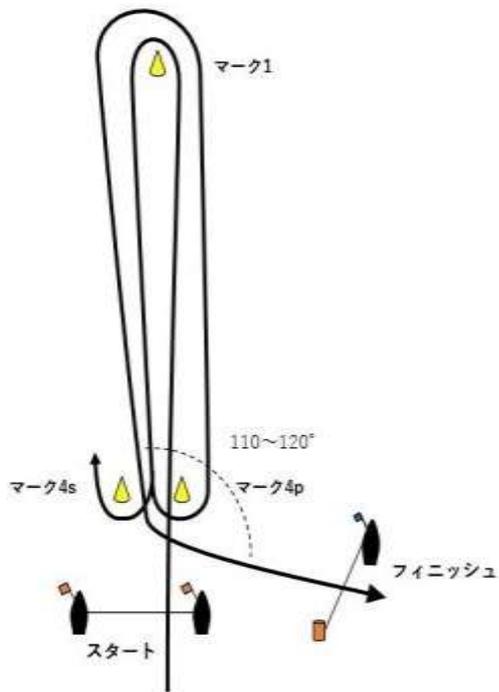
S-1-4s/4p-1-2-3p-F



※マーク2と3s/3pはオレンジ色カバー付き台形マークボットローンパイとなる場合がある。

コース・コード『LR』

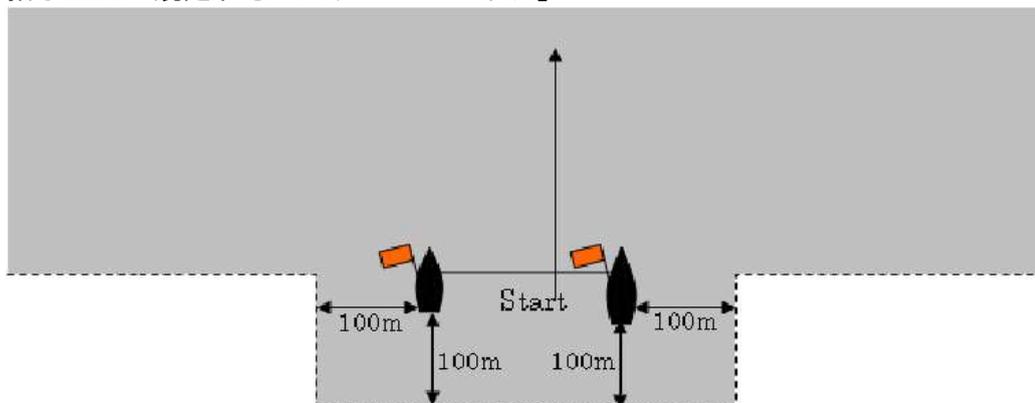
S-1-4s/4p-1-4p-F



※マークはオレンジ色カバー付き台形マークボットローンパイとなる場合がある。

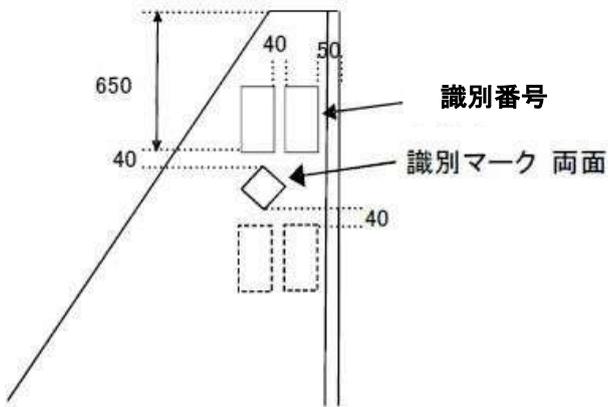
【添付図C】 スタート・エリア ( で示す)

指示12.2に規定する「スタート・エリア」

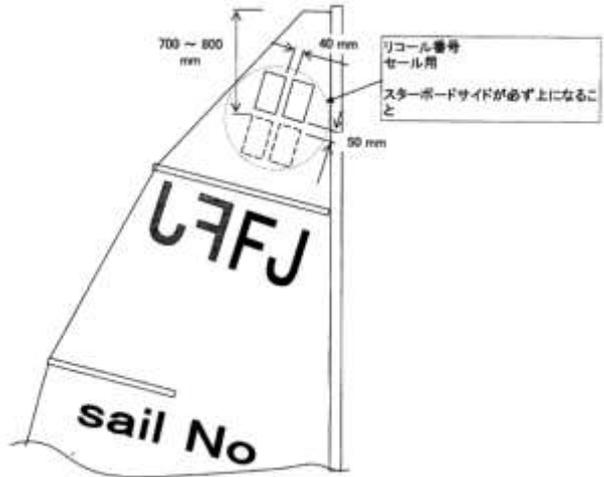


【添付図D】識別番号シール位置

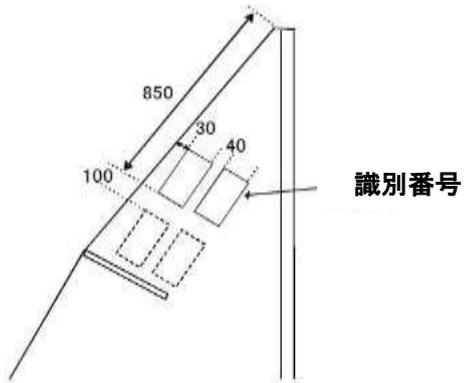
420級



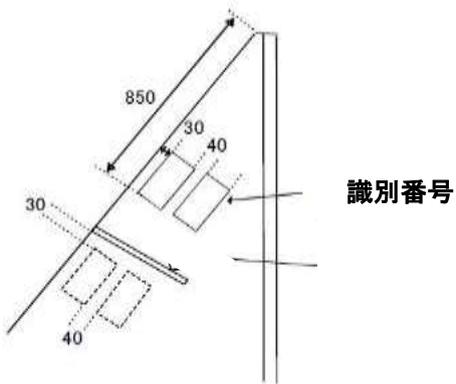
FJ級



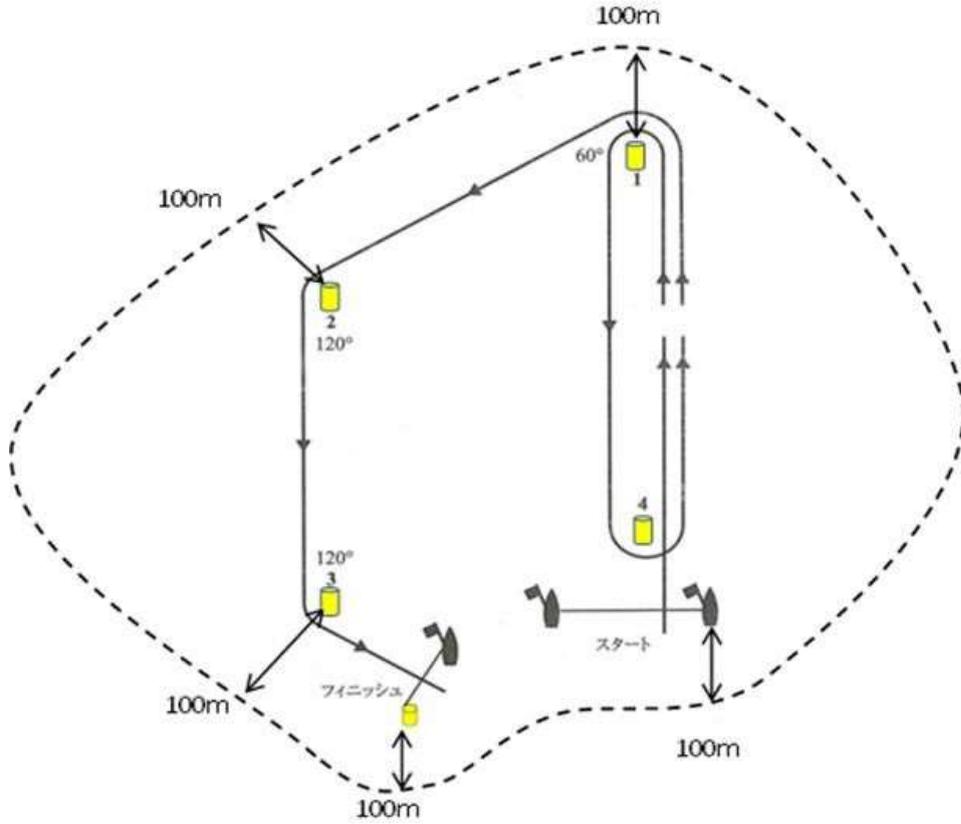
シングルハンダー級
(ILCA6級)



(シーホッパー級)



【添付図E】 艇がレースをしているエリア



潮汐表 (三角港)

日付	満潮		干潮	
	時刻	潮位	時刻	潮位
03/21 (木) (中潮)	7:21	312	0:42	92
	19:06	300	13:27	135
03/22 (金) (中潮)	7:51	333	1:26	69
	19:43	329	13:56	107
03/23 (土) (中潮)	8:18	349	2:02	52
	20:17	351	14:24	84
03/24 (日) (大潮)	8:44	360	2:33	41
	20:49	367	14:52	65